2022年 7月号
ぴらたんニュース

京都にちなんだ話題をお届けします
京 style

～ 鯉山～

祇園祭の山鉾「鯉山」。 龍門の滝を登る鯉の勇姿を表す木の彫刻は、 江戸時代の名工・左甚五郎の作とされていますが、 この鯉には昔話があります。 正直者の男と、 人が良く、 曲がった事は嫌いという大家さんが鯉山町に暮らしていました。 ある日、 大家さんが琵琶湖の渡し船に乗った時、 懐から誤って小判3枚を湖に落としてしまいました。 京に着いて正直者の男に出会った大家さんは、 男にその話をしました。 数日後 その男が、 大津から来た川魚屋で大きな鯉を買い料理し始めたところ、 腹の中から小判が3枚出てきました。 男はその小判を持って、 大家さんの家へ向かいました。 大家さんは「これは確かに私が落とした小判に間違いない。 ただ、 お前さんが買った鯉の中から出てきたものは全てお前さんのものだ」と言って、 小判を受け取りません。 男も「あなたのものと知れている小判を このまま持って帰ることはできません」と譲らず、 困り果てた2人はお役人に相談しました。 お役人は感心し、 この争いは美談として後世に残すべきだとして、 その小判で近所に住む左甚五郎に鯉を彫ってもらい、 祇園祭の山にしたらどうかと言いました。 今も鯉山町の大人たちは、 祇園祭の頃になると、 町内の子どもたちにこの昔話を語り「鯉山町は正直者が多いとこなんやで」と言うそうです。

HIRAIWA

学校の象徴に欠かせない 学校旗
消防団の士気に欠かせない 消防団旗
勝利の証に欠かせない 優勝旗

【取扱商品】
社旗　横断幕　販促のぼり旗　のれん　応援団用品
祭り袢天　山車幕　神社寺院幕　神社のぼり旗　鈴緒
劇団幕　舞台幕　演台カバー　マーチングバンド横幕

株式会社 平岩
〒604-0907　京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241
TEL ：075-222-1041 / FAX：075-222-0843
MAIL：web@kyoto-hiraiwa.co.jp
今すぐアクセス！ 京都 平岩

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが
「配信停止」と記入いただき、ご返信ください